

令和6年4月2日

第25回 長崎国際大学入学式（488名）

“大谷君 素敵な春をありがとう”日本を代表するアスリートが世界中に明るい春をいざなってまいりました本日、第25回入学式を挙りましたが、コロナ禍も下火になったとは言え、今回のご来賓への案内は自粛させていただき、同窓会会長の橋之口さんのご臨席を頂いております。

只今、中村学長先生より入学許可をいただかれました488名の皆さん、おめでとうございます。

大学を営みます学校法人九州文化学園は、昭和20年第二次世界大戦が終わった年に設立されました。今年で79年を迎えます。現在、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、2つの専門学校、短期大学、大学、大学院を併設いたします総合学園です。

大学は平成12年、佐世保市・長崎県・地元企業の支援を受けて誕生した長崎県では初めての公私協力型の大学であります。そのよって立つ建学の理念は「いつも人から そして心から」というホスピタリティの心であり、具体的実践として茶道文化が必修科目として設定されています。

さて、これから学業をする皆さん、コロナ禍が治まったとは言え、まだ余韻がくすぶっています。国内にあってはお正月の能登半島地震、世界にあっては地球温暖化で絶滅危惧種の増加、ウクライナ侵攻、イスラエルのガザ襲撃などの紛争、混とんとした社会で皆さん方は真理を学び、教員、友人と出会い、専門的実技と資格を修得、又、スポーツに親しみ、地域への貢献をも視野に入れた大学生活、目標とするものは予想できない社会での課題解決能力、判断力、実践力、更には協調性、リーダー力を身につけて欲しいのであります。

どうぞ充実した意義のある学生生活を、私たち大学も支援、協力してまいります。

本日のご入学本当におめでとうございます。

学校法人九州文化学園
理事長 安部直樹